

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築					
市町村名	上田市	ふりがな 箇所名	(国)143号		よした	吉田	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H28年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=200m W=6.5(12.0)m					H23年度末事業進捗率	0%				
	H24年度以降降残実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H24年度実施内容	測量設計一式					用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降降残						
財源内訳	事業費計(千円)	200,000	0	0	7,000	200,000						
	国庫支出金	0	0	0	0	0						
	その他	30,000	0	0	1,050	30,000						
	県債	0	0	0	0	0						
一般財源	170,000	0	0	5,950	170,000							
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点				
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	A	4				
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある			0				
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線			A及びBに該当しない		5		
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			0				
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅 員)			5.5m以上(幅員)		0		
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る		歩道はあるが不十分で あるものを再整備			自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない		2		
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施							10		
		小計						23				
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い		環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い		環境・景観配慮をしてい ない		0			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている		特別な位置づけはない		3			
		小計						3				
	効率性 (20)	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)		B/C(3便益)1.0未満		5			
		事業効果の早期発現 (H24以降降残事業年数)	事業年数 3年以内		事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上		5			
		コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		コスト削減はしていない		0			
		小計						10				
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる		交通事故や落石等の危険が ない		6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)		医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)		医療・福祉の連携に関係 ない道路		6			
		小計						12				
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		7			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		特に周知していない		5			
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接 参加		住民や市町村の意見を 計画策定に反映		特に住民意見は反映し ていない		4			
		小計						16				
費用対効果(B/C)		3.3		評価の合計			B		64			
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴 史的経緯・社会的 背景	本路線は松本市から上田市の(国)18号バイパスへ接続する道路である。また、通勤、通学のための道路として活用され交通量も多い。 本線に接続する市道が拡幅改良されることにもない交通量が増加し、交差点付近における事故の発生が危ぶまれるため、交差点改良を行いたい。										
	地域からの要望経 緯	平成23年度 地元自治会と、現地調査を実施した。右折レーンの設置や視距改良等の交差点改良に関する要望が強い。										
	事業説明等の経緯	上田市や地区役員に説明。										
	環境・景観への配 慮項目	特になし。										
	他事業・プロジェクト との関連	上田市道拡幅事業										
特記事項	特になし。											
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	交差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 後の拡幅改良が必要である。			政策評価課 意見	必要性が認められる。							